

キャラクター名  
カミモリ リョウスケ

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	故買屋	カヴァー	なし
オプション		年齢	19	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	憎悪	初期侵食率	39%
出自	安定した家庭	経験	永劫の別れ	邂逅	協力者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	1	0			1	行動値	6
感覚	0		1			1	(非装備時)	6
精神	6		0			6	戦闘移動	11
社会	2		0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
「さあ、死の円舞曲を」	射撃	11r+4	0	33		コンセントレイト[LV2]/コントロールソート/即席武器[LV1]/零距離射撃[LV5]/バレットワルツ[LV8] 9
「ハッハ！ 跳れ跳れエ！」	射撃	12r+4	0	38		コンセントレイト[LV3]/コントロールソート/即席武器[LV2]/零距離射撃[LV6]/バレットワルツ[LV8] 9

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
Dロイス: 超血統P		N		
孤児達	P 遺志	N 悔悟		
鎌狩	P 尊敬	N 恐怖		
双葉 与一	P 信頼	N 猜疑心		
兎枷 春姫	P 信頼	N 猜疑心		
ソフィーナ	P 好奇心	N 嫌悪		
エレノア	P 執着	N 脅威		

最大財産P: 6    残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2		メジャー					
効果:	いつもの							
コントロールソート	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	【精神】で判定を行える							
即席武器	5	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	攻撃力+[LV*2+3] 射撃の場合は射程20M							
武芸の達人	5	-	常時	至近	自動	自動	-	
効果:	達成値を+[LV*3] 暴走時無効化 侵蝕率LVUP無し 侵蝕率基本値+4							
零距离射撃	5	2	メジャー	至近	-	対決	-	
効果:	ダイス+LV個 必ず射程:至近になる							
バレットワルツ	9	3	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果:	前提: 零距离射撃 攻撃力+[LV*3]							
フェイタルヒット	5	4	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果:	ダメージ+[LV]Dする。1ラウンド1回まで							
神機妙算	2	3	メジャー	-	範囲(選択)	-	80↑	
効果:	対象変更。1シーンにLV回							
スキルフォーカス	5	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	達成値+[LV*2]							
コンバットシステム	5	3	メジャー/リアクション	-	-	対決	-	
効果:	ダイス[LV+1]個							
究極鑑定	★	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果:	未知のアイテム一つを分析し、来歴や作成方法、使い道を探き出すエフェクト。あくまで知るだけなので、実際に作成したり、操作できるようになる訳ではない。GMは必要なら<知識>を振らせてもよい							
写真記憶	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	目のしたものを細部に至るまで詳細に漏らすことなく記憶できるエフェクト。必要と感じたのなら<知覚>を振らせてもよい							
効果:								

・写真の男(橋本 栄弥) 執着/なし 過去の事だ。今更知ったところで何が変わる訳でもない。……分かっているのに。何故。

オーナー鎌狩が経営する、カフェ『縁』の二階を借りて故買屋をしている。  
争いごとは嫌々として首を突っ込み、仲裁に入る。  
あまり、周囲の治安が下がることを良しとしておらず、どちらかというUGN側と言える(そんな組織がある事は知らないが)が、時には殺しも厭わないので、彼も同様のこの街に染まっているのだろう。  
過去はあまり振り返らない事を念頭に置いているようで、パチパチに争っている相手であっても、利益があれば助ける。

幼い頃から鎌狩が経営する『縁』という孤児院で生活していた。孤児院の中では暖かい環境だったんだと我ながら思う。  
勿論、ひもじい時も、悲しい時もあったが、それを掻き消すくらい笑いが絶えなかった。そんな陽だまりだった。

そんな陽だまりだからこそ、疎まれたのだろう。  
こんな時代だ、無理もない。